



A35.2 STEREO POWERAMPLIFIER

User Guide

はじめに

この度は PRIMARE ステレオパワーアンプ A35.2 をお買い上げいただきまして、誠にありがとうございます。本取扱説明書には、本機設置や操作について重要な情報が含まれています。本説明書をお読みの上、設置や操作の詳細について充分にご理解いただき、正しくご使用の上、末永くご愛用くださいますようお願い申し上げます。

開梱

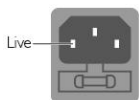
箱から商品を取り出して、中身を確認してください。
欠品がありましたら、直ちにお買い上げいただいた販売店に連絡してください。

本体	1台	電源ケーブル用 2P/3P 変換プラグ	1個
Trigger ケーブル	1本	取扱説明書 (本紙)	1冊
検電器 (単4乾電池×2)	1個	保証書	1部
電源ケーブル	1本		

【エージングについて】

本機がより良い状態に到達するために、最初に約24時間のエージングを行ってください。その後、少なくとも約3日間のエージングを経て、徐々に音質が向上していきます。

【検電器のご使用について】



本機には検電器が同梱されています。検電器が赤く点灯する側が、プラス (Hot, Live) になります。また本体リアパネルの IEC 電源コード差込口は、左のピンがプラスになります。接続するコンセントの電源の極性を確認の上、本機をご使用いただけます。

【ご注意】

検電器の電池を交換する際は、単4乾電池と交換してください。また古くなった乾電池は、環境に配慮し、お住まいの市町村の指示に従って適切に廃棄してください。

使用上の注意

本機の性能を十分に引き出し、また安全にご使用いただくため、以下の点にご注意ください。

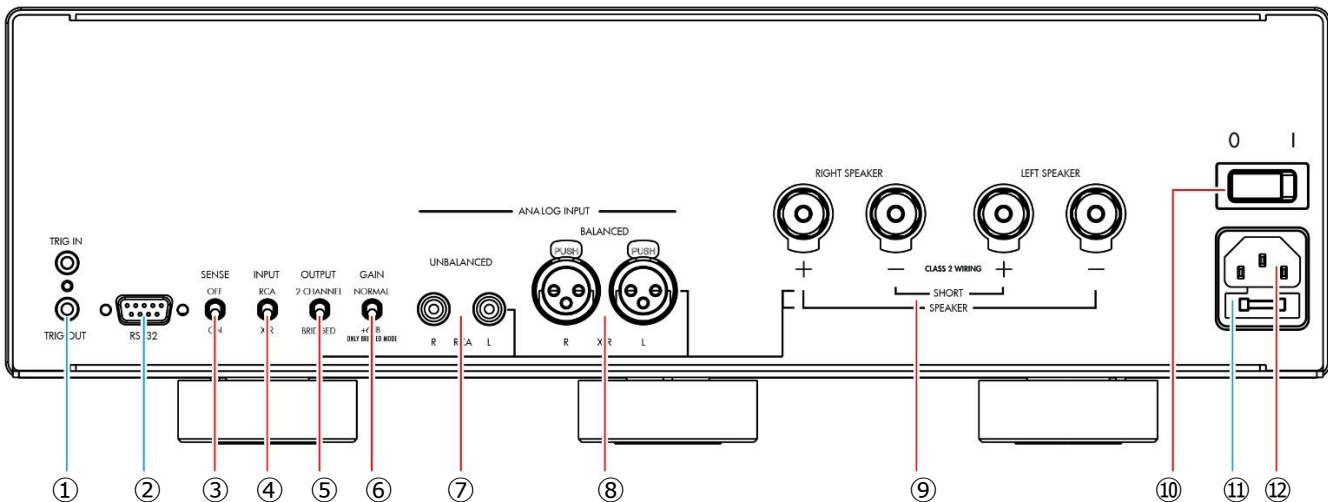
- ◆ 分解、改造等は絶対にしないでください。法律で罰せられる場合があります。
また改造等により発生した不具合は、保証の対象外となります。
- ◆ 本体カバー及びリアパネルは絶対に取り外さないでください。感電の恐れがあります。
またお客さまによる修理は大変危険ですので、絶対にお止めください。故障・不具合が疑われる場合は、お買い上げいただいた販売店に修理を依頼してください。
- ◆ 本機は、FCC 基準パート 15 に準ずる、Class B デジタル電子機器の制限事項に準拠しています。
そのため本機は無線通信を妨害しないよう設計されていますが、高周波エネルギーを放射する可能性があるため、正しく設置しない場合、無線通信に障害を及ぼす可能性があります。万一電波障害が発生した場合は、以下をお試しください。
 - ・アンテナの向きまたは設置場所を変更する
 - ・本機とレシーバーの距離を十分にとる
 - ・本機とレシーバーの電源系列を別の回路にする
 - ・テレビ/ラジオの専門技術者に問い合わせる
- ◆ 適切な機器とのみ接続してください。
機器との接続に疑問がある場合は、お買い上げいただいた販売店等にご相談ください。
- ◆ ラックやスタンドを使用する場合は、オーディオ機器対応の製品を使用してください。
また機器を載せた状態でラックやスタンドを移動させる場合は、転倒しないようご注意ください。
- ◆ クリーニングする場合は乾いた柔らかい布で拭いてください。研磨剤・溶剤等の入った洗剤を使用しないでください。
またクリーニングする場合は、必ず電源ケーブルをコンセントから抜いてください。
- ◆ 以下の場所には設置しないでください。火災や感電の恐れがあります。
 - ・火気、可燃物の近く
 - ・子どもの手の触れる場所
 - ・ベッド、ソファ、ラグ、カーペット等の柔らかい素材の上
 - ・本棚、物置き、キャビネット等の閉じた空間の中
 - ・キッチン、バスルーム、洗面所、プールサイド等、液体物の近く(水等の液体を近づけないでください)
 - ・ストーブ、ヒーター、暖炉、その他発熱する機器(アンプを含む)等、暖房器具の近く
 - ・直接日光/雨が当たる場所、風通しの悪い場所、埃の多い場所、極端に暑い場所、寒い場所、湿度の高い場所
- ◆ 本機に物を落としたり、液体物を噴霧したりしないようご注意ください。故障の原因になります。
- ◆ オーバーヒートを防ぐため、周囲に十分なスペース(最低 50mm)を確保してください。
また本機の上に直接物を置かないでください。
- ◆ AC100V 以外の電圧では使用しないでください。
また付属の電源ケーブルは本機専用です。他の機器に使用しないでください。
- ◆ 本体主電源 ON/スタンバイモードの場合も、本体には微量の電流が流れ込んでいます。
緊急時に直ぐ電源ケーブルを抜けるよう、電源ケーブル及びコンセントの周りに物を置かないでください。
- ◆ 電源ケーブルは、結んだり、巻き付けたり、踏んだりしないようご注意ください。火災や感電の恐れがあります。
また落雷の恐れがある場合や長期間使用しない場合は、本体主電源を OFF にして、電源ケーブルを抜いてください。
- ◆ ヒューズを交換する場合は、同じ定格のヒューズを使用してください。
- ◆ 寒い場所から暖かい場所に急に移動させると、内部で結露を起こします。移動させる場合は、最低 1 時間は電源を入れずに待ち、室内温との差がなくなってから電源を入れてください。
- ◆ 煙が出ている、異臭がする、異音がする等の異常が確認された場合は、直ちに本体の電源スイッチを切り、必ず電源ケーブルを壁コンセントから抜いてください。異常状態のまま使用すると、火災や感電の恐れがあります。速やかにお買い上げいただいた販売店に修理を依頼してください。

※その他の注意事項は別紙「お取り扱いについて」をご参照ください。

各部説明

リアパネル


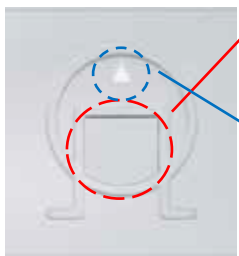
※図中の番号は下記の説明文の番号を表しています。



① TRIGGER IN/OUT	本機を PRIMARE のアンプ等と接続して、電源/ON スタンバイモード操作を接続した機器と連動して行うための端子です。IN 側で電源/ON スタンバイモード操作を行うと、OUT 側が運動します。付属の Trigger ケーブルを使用して接続します。
② RS232	RS232 コントロール端子。 ※注意!! : 通常使用しません。
③ SENSE (ON/OFF)	オートセンス機能の ON/OFF を行います (※P5 参照)。 ON:ANALOG INPUT で入力信号を検出した際に、自動的にスタンバイ状態から電源 ON。 OFF:フロントパネルの STAND BY ボタンのみで、スタンバイ⇄電源 ON 操作を行います。
④ INPUT (RCA/XLR)	入力の切替 (RCA or XLR) を行います。 RCA:⑦ANALOG INPUT (RCA/UNBLANCED) 入力が有効。 XLR:⑧ANALOG INPUT (XLR/BLANCED) 入力が有効。
⑤ OUTPUT (2CHANNEL/BRIDGED)	出力モード (2CHANNEL or BRIDGE) を選択します。 ●2CHANNEL: 本機を 2ch のステレオパワーアンプとして使用します。⑨の L/R SPEAKER 端子には、1 ペアのスピーカーを接続してください。 ●BRIDGED:本機をブリッジモードで駆動し、モノラルパワーアンプとして使用します。⑨の L/R SPEAKER 端子には、1 ペアのスピーカーを接続してください (P5 参照)。
⑥ GAIN (NORMAL /+6dB ONLY BRIDGED MODE)	出力ゲインを選択します。 ●NORMAL:本機を 2ch のステレオパワーアンプとして使用する時に選択します (⑤出力モード:2CHANNEL 選択時)。 ●+6dB [BRIDGED モード時のみ選択可]:本機をブリッジモードで駆動し、モノラルパワーアンプとして使用する時のみ選択可能です (⑤OUTPUT:BRIDGED 選択時 P5 参照)。
⑦ ANALOG INPUT (RCA/UNBLANCED)	RCA アンバランス入力端子。プリアンプのプリ出力 (RCA) と本機を、RCA アンバランスケーブルで接続してください。
⑧ ANALOG INPUT (XLR/BLANCED)	XLR バランス入力端子。プリアンプのプリ出力 (XLR) と本機を、XLR バランスケーブルで接続してください。(Pin1:Ground, Pin2:Hot, Pin3:Cold)。
⑨ L/R SPEAKER	L/R スピーカー出カターミナル。スピーカーケーブルの左/右、(+) / (-) を正しく接続して下さい。ブリッジモード時は 1 本のスピーカーを接続します(P5 参照)。バナナプラグ、スペードプラグ対応。
⑩ POWER ON/OFF	本体主電源の On/Off を行います。
⑪ AC FUSE HOLDER	ヒューズホルダー
⑫ AC INPUT	IEC 電源コード差込口

フロントパネル



<p>① Stand-by </p> 	<p>Stand by/Onの切替</p> <p>リアパネルの ⑩POWER ON/OFF ボタンを ON にし、フロントパネル中心部にあるロゴマーク内のスイッチ (左図の赤線部分)を押してください。スイッチを入れると <u>LEDが何秒間か点滅し、リレー音と共に点滅が止まった後、電源が ON 状態になります。</u></p> <p>LED はスタンバイモード/電源 On 状態が表示されます(左図の青線部分)。</p> <ul style="list-style-type: none">• スタンバイモード時には<u>暗く</u>点灯します。• 駆動 (電源 On) 時には<u>明るく</u>点灯します。
---	--

使用方法

■ Connecting Mains Power 接続方法

- (1) 本体を所定の場所に設置します。
- (2) 最初に付属の電源ケーブルを、リアパネルの電源コード差込口 (⑫) に挿入してください。その後、壁面の電源コンセントに接続します。付属の電源ケーブル用 2P/3P 変換プラグをご使用ください。

【ご注意】

ケーブルを接続または取り外す場合は、必ず本体主電源を Off にしてください。
また長期間使用しない場合も、本体主電源を Off にして、電源ケーブルを抜いてください。

- (3) リアパネルの本体主電源 (⑩) を On にします。
- (4) フロントパネルのインジケータが暗く点灯します (スタンバイ状態)。

■ Switching On 起動方法

- (1) フロントパネルの Stand-by ボタンを押します。
- (2) フロントパネルのインジケータが数秒間点滅し、その後が明るく点灯します (電源 On)。

※ 本機は 20 分間連続して入力信号が無い場合、電源 On から自動的にスタンバイモードになる「オートスタンバイ機能」(P5 を参照) が備わっています。

■ Connect to a preamplifier プリアンプと接続する

- … 本機を RCA アンバランス、もしくは XLR バランス接続でプリアンプと接続します。接続する入力に合わせて INPUT スイッチを (XLR or RCA ⑫) を切り替えます。
 - ※ RCA アンバランス接続の場合は、プリアンプのプリ出力 (RCA) と本機の ANALOG INPUT (RCA/UNBLANCED) を接続してください。
 - ※ XLR バランス接続の場合は、プリアンプのプリ出力 (XLR) と本機の ANALOG INPUT (XLR/BLANCED) を接続してください。

■ Connect Speakers スピーカーと接続する

- … 本機は、1 ペアのパッシブスピーカーに接続するよう設計されています。
 - ※ 赤いケーブルをスピーカーと+マークの付いた赤い端子に、黒いケーブルをスピーカーと-マークの付いた黒い端子に接続してください。
 - ※ スピーカーケーブルは付属していません。
 - ※ 端子はスベードプラグ、バナナプラグまたは裸線タイプのいずれのスピーカーケーブルもお使いいただけます。
 - ※ 裸線を接続する場合は、端子のプラグを緩め、端子ボルトの穴に裸線を通し、端子をしっかりとプラグで締めて固定します。

■ Automatic standby オートスタンバイ機能

- … 本機は 20 分間連続して入力信号が無い場合、電源 On から自動的にスタンバイモードになる「オートスタンバイ機能」が備わっています。初期状態ではこの機能は有効ですが、以下の手順で無効にすることができます。
 - (1) **電源が On の状態で**、フロントパネルのインジケータが**二回点滅するまで** Stand-by ボタンを長押しします。オートスタンバイ機能が無効になります。
 - (2) オートスタンバイ機能を再度有効にするには、リアパネルの本体主電源 (⑩) を Off にした後、再度 On にします。オートスタンバイ機能が有効になります (初期設定)。

■ Sense オートセンス (自動検出) 機能

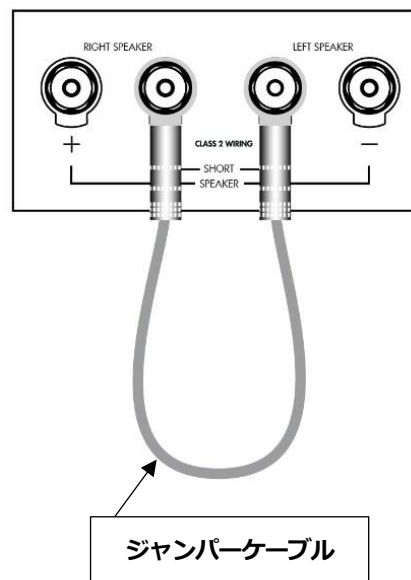
- … 本機はスタンバイモードの時に入力信号が検知された場合、自動的にスタンバイモードから電源 On (駆動) 状態になる「オートセンス機能」が備わっています。SENSE ボタン (③) で On/Off を切り替えます。

■ Bridged mode ブリッジモード

- … 本機はモノラルパワーアンプとして使用するための「ブリッジモード」が備わっています。以下の手順でブリッジモードの設定、接続を行います。

- (1) **本機の電源を Off にします。**
- (2) OUTPUT スイッチ (⑤) を「BRIDGED」にセットします。
- (3) 本機とプリアンプなどの機器間を、接続する方法に合わせて INPUT スイッチ (④ RCA or XLR) をセットします。
- (4) (3) で設定した入力 (RCA or XLR) に合わせて、ANALOG INPUT (⑦ or ⑧) の **Lch 側**とプリアンプの出力端子を、インターコネクトケーブル (RCA or XLR) を用いて接続します。
- (5) 右図の様に、ジャンパーケーブル 1 本を RIGHT SPEAKER (-) と LEFT SPEAKER (+) に接続します。
- (6) スピーカーケーブルを RIGHT SPEAKER (+) 端子と LEFT SPEAKER (-) に接続します。
- (7) 必要に応じて GAIN スイッチ (⑥) を「+6dB」にセットします。「NORMAL」より高出力が得られます (**ブリッジモード時のみ GAIN スイッチは有効です**)。
- (8) 電源を On にするとブリッジモードで起動します。

※ ジャンパーケーブルは付属していません。



トラブルシューティング

不具合が疑われる場合は、まずは全ての接続をご確認ください。また本機以外の原因も考えられますので、接続した機器の使用方法もあわせてご確認ください。下記は、一般的な問題症状と考えられる解決策になります。下記対策後も動作に変化が見られない場合は、お買い上げいただいた販売店または株式会社ナスペックまでお問い合わせください。

症状	原因	対策
1.電源が入らない。	電源ケーブルが正しく接続されていない。	電源ケーブルを奥までしっかり差し込んでください。
	本体主電源が Off になっている。	リアパネル右の本体主電源を On にしてください。
	スタンバイモードになっている。	主電源が On の状態で、フロントパネルのスタンバイボタンを押して、スタンバイモードから電源 On 状態に切り替えます。 LED はスタンバイモード時は暗く、電源 On 状態（駆動時）は、明るく光ります。
2.スピーカーから音が出ない。	オーディオ信号が正しく入力/出力されていない。	全ての接続を確認してください。
	INPUT スイッチが正しく選択されていない	リアパネルにある INPUT スイッチを、使用している入力 (XLR or RCA) に合わせて切り替えてください。

※上記の対策後も動作に変化が見られない場合は購入店または、株式会社ナスペックにお問い合わせください。

Specifications

出力 (Stereo)	200W + 200W(8Ω) / 400W + 400W(4Ω)
出力 (Bridged)	800W (8Ω) / 500W(4Ω)
周波数特性	20Hz - 20kHz , -0.2dB
S/N 比	> 110dB
THD+N	< 0.008%, 20Hz - 20kHz, 10W at 8Ω
ゲイン	XLR 20dB / RCA 26dB
入力系統	バランス XLR × 1 / アンバランス RCA × 1
入力インピーダンス	XLR 30kΩ / RCA 15kΩ
アンプモジュール	PRIMARE UFPD2
電源	PRIMARE APFC
コントロール端子	RS232 / Trigger 入出力
消費電力	スタンバイ時 0.4W / アクティブ時 <28W
サイズ	W430 × H145 × D382 (400 : 突起物含む)mm
重量	11.8Kg

※ PRIMARE 製品の XLR 端子は、2 番 HOT となっております。

PRIMARE は、常により洗練されたデザイン・設計を目指し、製品の改善に努めています。
そのためデザイン、性能等、事前の予告なしに変更される場合がございます。
また本製品の輸送に必要となる購入時の箱は、必ず保管しておいてください。

保証

本機の保証は株式会社ナスペックが行います。

詳しくは、株式会社ナスペックの HP/サポートページ(<http://naspecaudio.com/support/>)をご確認ください。

修理の際は、販売店または株式会社ナスペックにお問い合わせください。

※修理についてのご質問・送り先は、下記 本社/サービスセンターにてお受け致しております。

詳しいお問い合わせは **PRIMARE 日本輸入総代理店 株式会社ナスペック**まで




株式会社ナスペック
〒500-8386 岐阜県岐阜市藪田西 1-4-5

HP : <http://naspecaudio.com>

TEL : 058-215-7510

FAX : 058-268-7118

 : 0120-932-455

E-mail : support@naspecaudio.com

2020.1.29 (Ver 1.00)